

山に入るときは、クマに注意してください

野生鳥獣対策室

大型連休を迎え、行楽等で山に入る人も増えますが、この時期はツキノワグマが冬眠から覚め、活動が活発になる季節でもあり、遭遇の危険性が高くなる時期です。

特に、今年は雪解けも早く、人もクマも早くから活動的になることが予想されます。

山に入る場合には次のことに十分気をつけてください。

音の出る物を持って、周囲に十分注意して行動してください。

冬眠から覚めたクマも、芽吹いた山菜類を探して動き回ります。

山に入るときはラジオや鈴など、音の出る物を持って入りましょう。

なお、人もクマも山菜に夢中になって注意が散漫になってしまう可能性があります。周囲に十分に注意して行動してください。

子連れのクマに注意してください。

冬眠から覚めたメスグマは子グマを連れている場合があります。子連れの母グマは非常に神経質です。絶対に近づいてはいけません。

子グマだけがいる場合でも、近くには母グマがいる可能性があります。絶対に近づいてはいけません。

そのほか、クマに対する注意については、

長野県ホームページ「ツキノワグマによる人身被害を防ぐために」
http://www.pref.nagano.jp/rinmu/shinrin/04chojyu/04_kuma/01_jinshin/bear-zin.htm も御覧ください。

森林づくり推進課野生鳥獣対策室

電話(直通)026-235-7273

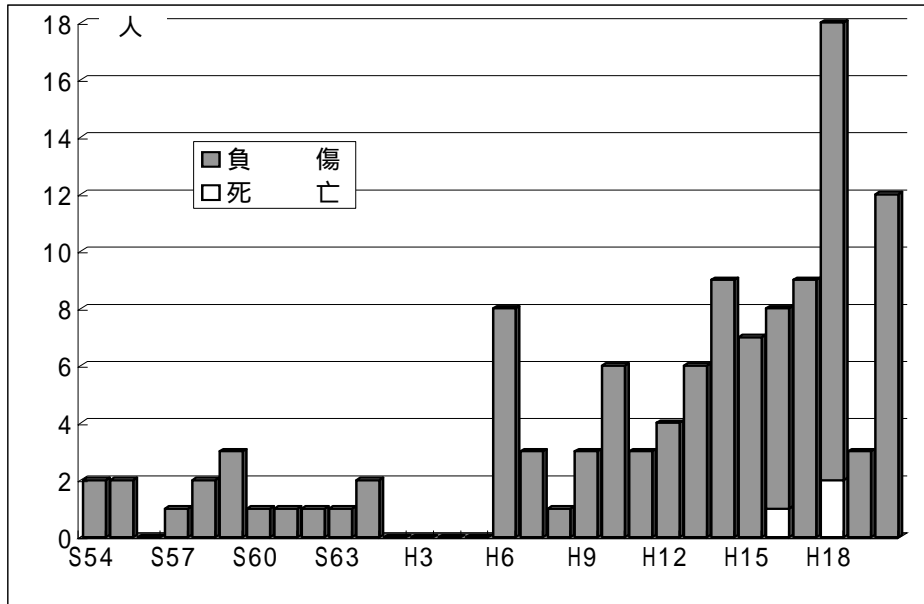
F A X 026-234-0330

shinrin@pref.nagano.jp

ツキノワグマによる人身被害の状況

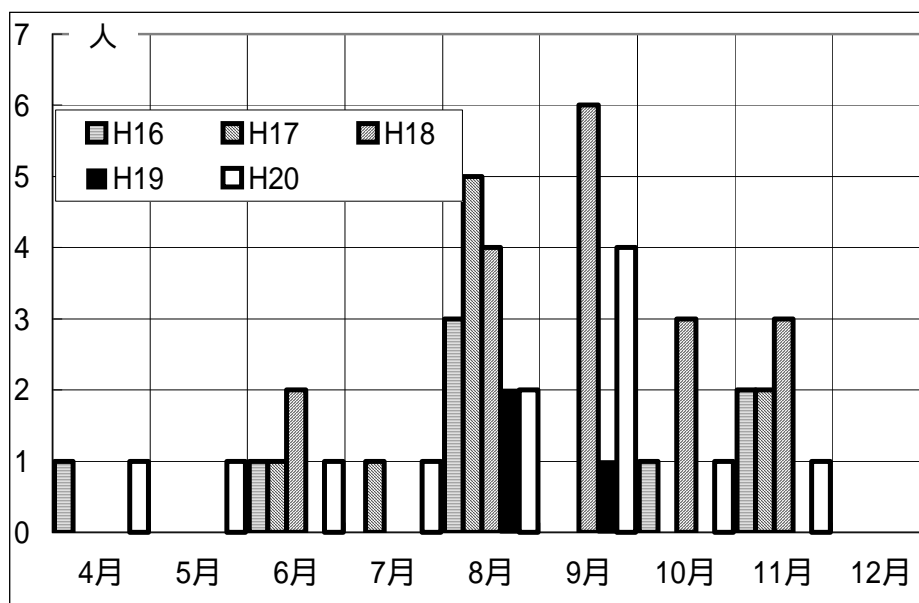
1 人身被害の状況

- ・ 昨年度は異常出沒のあった平成 18 年を除くと最大の被害件数となっている。



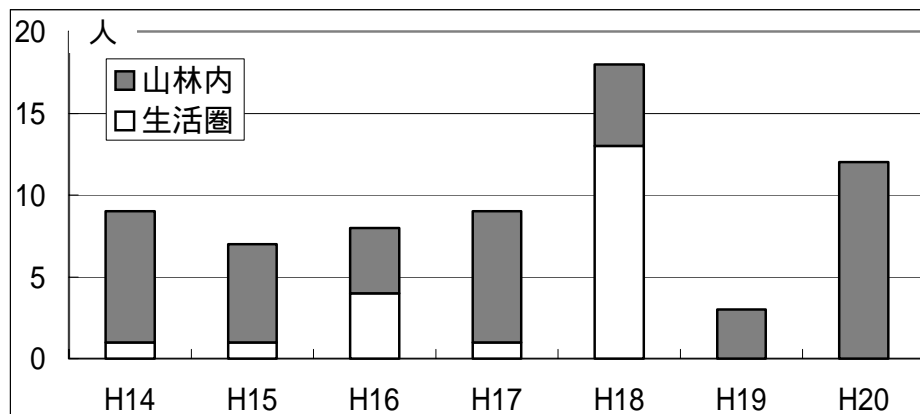
2 月別被害発生状況

- ・ 昨年度は毎月被害が出続けている。例年多い 8 月は決して多くないが、9 月の発生が 4 件と最大になっている。



3 場所別発生状況

- ・ 昨年度の被害は全てが山林内で発生している。



4 活動別発生状況

- ・ 山菜狩り、アウトドア等のレジャーでの発生が多く、うち3名は県外者。
- ・ 12名中9名は鈴、ラジオ等を携帯せず。県外者3名のうち2名も所持しておらず、残りの1名は小指の先ほどの小さな鈴を携帯。

